

SERIES PARASHADE

パラシェード ハーフ® / クォーター® / レクタングル

突っ張り棒1本で設置できる、日かげスペース広々の日よけオーニングです。

設置・取扱説明書

パラシェードハーフ®(半円型)

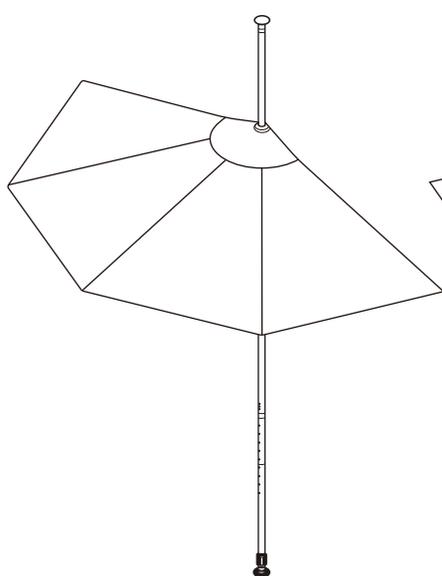
- | | |
|---------------------------------|----------|
| ▪ (約) 幅 300cm × 出幅 150cm アイボリー色 | PDHA2-IV |
| ▪ (約) 幅 300cm × 出幅 150cm グレー色 | PDHA2-GY |
| ▪ (約) 幅 300cm × 出幅 150cm ブラウン色 | PDHA2-BR |

パラシェードクォーター®(1/4 円型)

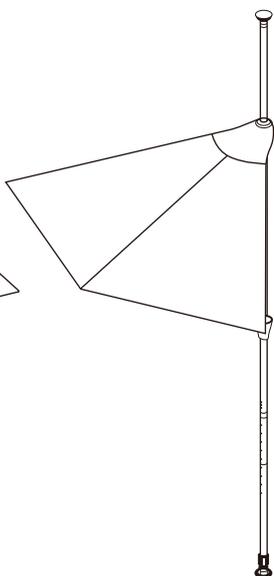
- | | |
|---------------------------------|----------|
| ▪ (約) 幅 150cm × 出幅 150cm アイボリー色 | PDQT2-IV |
| ▪ (約) 幅 150cm × 出幅 150cm グレー色 | PDQT2-GY |
| ▪ (約) 幅 150cm × 出幅 150cm ブラウン色 | PDQT2-BR |

パラシェードレクタングル(長方形型)

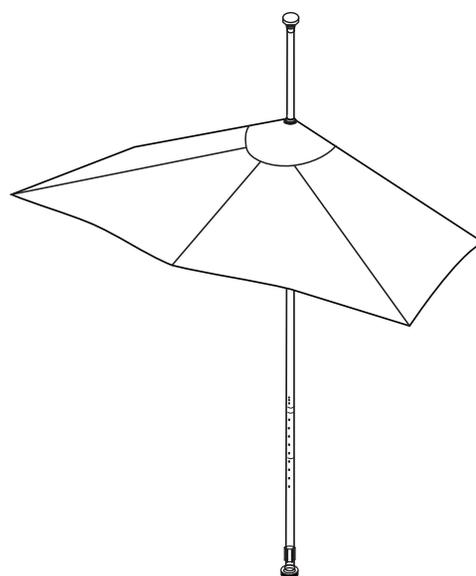
- | | |
|---------------------------------|----------|
| ▪ (約) 幅 200cm × 出幅 100cm アイボリー色 | PDRT1-IV |
| ▪ (約) 幅 200cm × 出幅 100cm グレー色 | PDRT1-GY |
| ▪ (約) 幅 200cm × 出幅 100cm ブラウン色 | PDRT1-BR |



パラシェードハーフ®



パラシェードクォーター®



パラシェードレクタングル

特許取得済(第6727619号)

PATENT PENDING

MADE IN CHINA

必ずお読みください。

「設置・取扱説明書」

このたびはパラシェード ハーフ・クォーター・レクタングルをお買い求め頂き、誠に有難うございます。パラシェード ハーフ・クォーター・レクタングルは、突っ張り棒を利用して設置する日よけオーニングです。設置・お取扱いの際には必ずこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになって正しくお使いください。またお読みになった後は大切に保管してください。

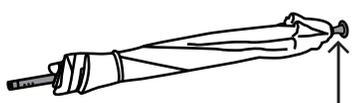
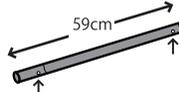
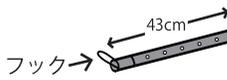
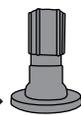
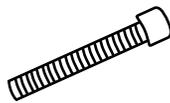
本書では、製品を安全にご利用頂くために次の絵表示を使用して、お守り頂く事項の内容を区分しております。

	警告 この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に重傷を負う可能性や死亡につながる可能性が想定されます。
	強制 この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為を指示する『強制』行為を示しております。
	禁止 この絵表示がある項目は、危険や損傷を回避する為に、特定の行為をしてはいけないという『禁止』行為を示しております。
	注意 この絵表示がある項目は、取扱いを誤ると人体に怪我を及ぼしたり本製品を破損したりする可能性があります。

- ⚠ 警告** 本製品を次のような場所には設置できません。
高層階のベランダなど、強風や地震等による転倒・落下が想定される場所。避難口や避難はしご等の使用を妨げる場所。その他使用時において、安全性に欠けると思われる場所。
- 🔧 強制** 設置前に必ずご確認ください。
突っ張り棒の受け面(床及び天井)が十分に硬くて丈夫なこと。また長期間、強い圧力や強い振動があっても変形しない面であること。(目安は金づちで叩いても変形・破損しない面であること) 突っ張り棒の受け面が水平面に対してプラスマイナス2度以内であること。
- 🔧 強制** ご利用中に必ず実施してください。
パラソルを開く時は回転ハンドルをゆっくりと回し、パラソルの骨組が正しい方向に可動していることや、骨組が窓や壁にぶつかっていないことをご確認ください。
1週間に1度以上の頻度で本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みが無いことをご確認ください。風がある際にはパラソルを畳み、ご使用にならないでください。
強風の際には本体を設置場所から取り外し、屋内に保管してください。
- 🚫 禁止** 故障の原因になります。
パラソルを開く際、パラソルの骨組が間違った方向に動いている可能性があります。その場合は一度回転ハンドルを逆方向に回してパラソルを閉じ、パラソルの骨組の可動方向に注意しながら再度ゆっくりと開いてください。設置後、本体を左右方向に回転させないでください。
- ⚠ 注意**
本製品のパラソル生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。
本製品のパラソル生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。

部品表

本製品を開封したら、最初に下表の部品及び数量を確認してください。
また⑥と⑧を締めるのに、スパナ(10mm)と六角レンチ(5mm)をご用意ください。

①本体 (上部パッド、ボルト、ワッシャー、袋ナット付)  上部パッド直径約9cm × 1	②天井ポール  59cm (穴数: 両端に片側2個=計4個) × 1	③上部ポール(フック付)  フック → 43cm (穴数: 片側5個=計10個) × 1
④下部ポール プラスチックネジ付  73cm (穴数: 片側6個=計12個) × 1	⑤下部ダイヤルパッド  パッド部分直径約9cm × 1	⑥ボルト  × 2
⑦ワッシャー  × 2	⑧袋ナット  × 2	⑨ホールキャップ  × 24

それでは実際に作業を開始しましょう。

以下の手順に従って、安全に作業を開始してください。

1. 設置環境の確認

下記事項を確認し、取付け場所として適しているか否かを確認してください。

a. 突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面であること。

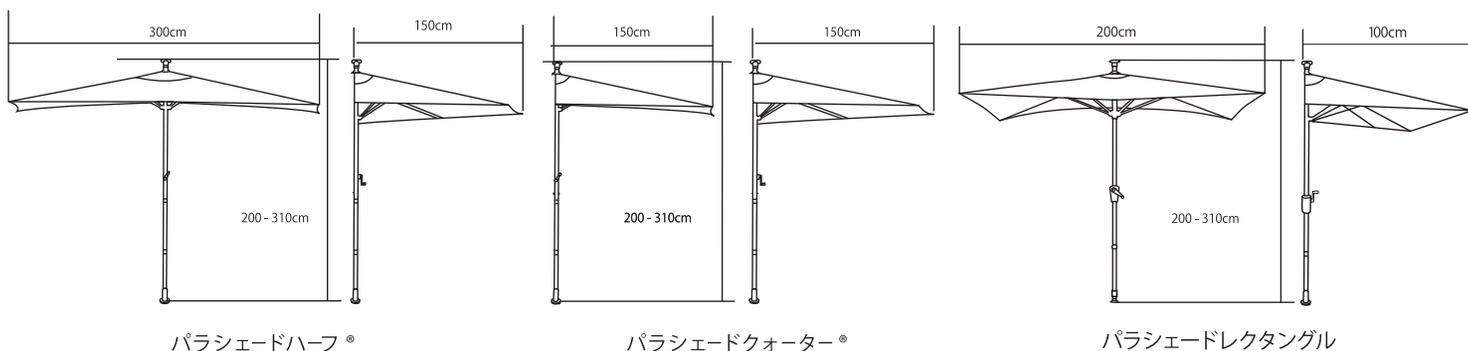
また長期的に強い圧力が掛かったり、強い振動を与えたりしても変形しない面であること。

(500kg 以上の押さえ圧に耐えられる面。目安は金づちで叩いても変形・破損しない面)

=突っ張り棒の受け面が十分に硬くて丈夫な面でない、本製品は設置できません。

b. 突っ張り棒の受け面(天井・床)が水平面から見てプラスマイナス2度以内であること。

c. 取付け場所の寸法が、本製品の規定範囲内であること。

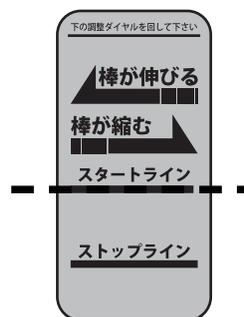
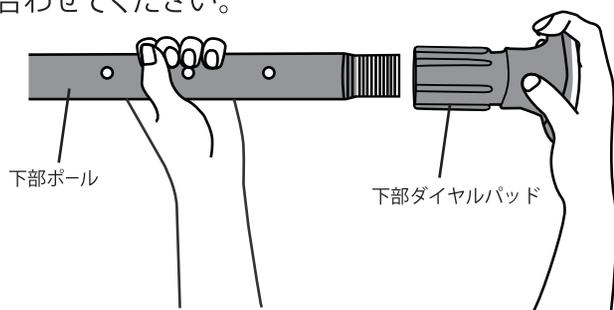


2. 設置

以下手順に従って設置してください。

A. 下部ダイヤルパッドの接続

④下部ポールに⑤下部ダイヤルパッドを回しながら接続し、⑤の上端がシールの"スタートライン"に重なる位置に合わせてください。



B. 設置場所の測定と、必要なポールの接続

1. 設置する場所の床から天井までの長さを測定し、次ページ表1にて測定した長さに必要な、"本体に接続するポール"(天井ポール・上部ポール・下部ポール)を確認してください。

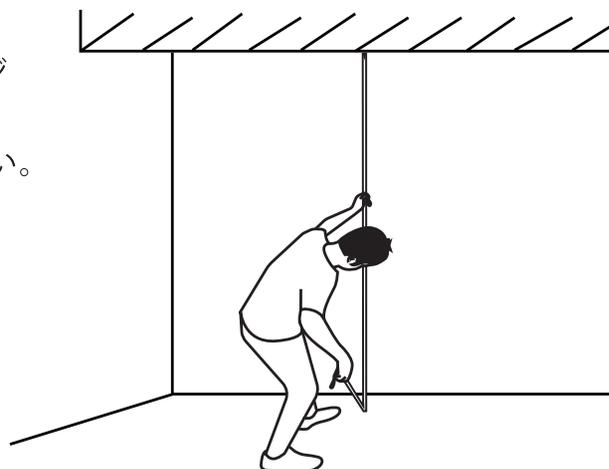


表 1

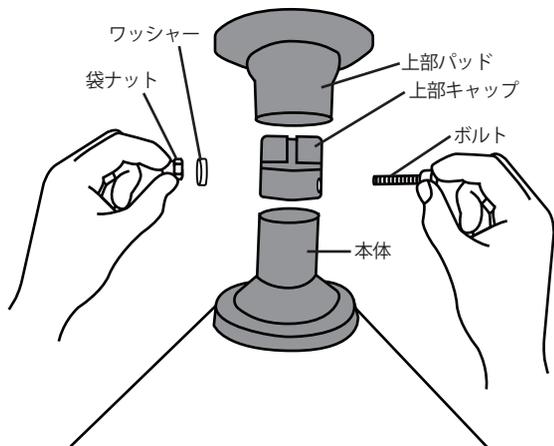
設置場所の床から天井までの高さ (cm)		本体に接続するポール			ボルトを差込む穴の組合せ	
		天井ポール	上部ポール	下部ポール	本体ポールの穴	差込むポールの穴
199 以上	201 未満	不要	不要	●	上から 2 個目	下部ポールの上から 6 個目
201 以上	203 未満				上から 3 個目	
203 以上	205 未満				上から 1 個目	
205 以上	207 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 5 個目
207 以上	209 未満				上から 3 個目	
209 以上	211 未満				上から 1 個目	
211 以上	213 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 4 個目
213 以上	215 未満				上から 3 個目	
215 以上	217 未満				上から 1 個目	
217 以上	219 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 3 個目
219 以上	221 未満				上から 3 個目	
221 以上	223 未満				上から 1 個目	
223 以上	225 未満				上から 2 個目	下部ポールの上から 2 個目
225 以上	227 未満				上から 3 個目	
227 以上	229 未満				上から 1 個目	
229 以上	231 未満	上から 2 個目	下部ポールの上から 1 個目			
231 以上	233 未満	上から 3 個目				
233 以上	235 未満	上から 1 個目				
235 以上	237 未満	不要	●	●	上から 2 個目	上部ポールの上から 5 個目
237 以上	239 未満				上から 3 個目	
239 以上	241 未満				上から 1 個目	
241 以上	243 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 4 個目
243 以上	245 未満				上から 3 個目	
245 以上	247 未満				上から 1 個目	
247 以上	249 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 3 個目
249 以上	251 未満				上から 3 個目	
251 以上	253 未満				上から 1 個目	
253 以上	255 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 2 個目
255 以上	257 未満				上から 3 個目	
257 以上	259 未満				上から 1 個目	
259 以上	261 未満				上から 2 個目	上部ポールの上から 1 個目
261 以上	263 未満				上から 3 個目	
263 以上	265 未満				上から 3 個目	
265 以上	267 未満	上から 1 個目				
267 以上	269 未満	上から 2 個目	下部ポールの上から 3 個目			
269 以上	271 未満	上から 3 個目				
271 以上	273 未満	上から 1 個目				
273 以上	275 未満	●	不要	●	上から 2 個目	下部ポールの上から 2 個目
275 以上	277 未満	上から 3 個目				
277 以上	279 未満	上から 1 個目				
279 以上	281 未満	上から 2 個目			下部ポールの上から 1 個目	
281 以上	283 未満	上から 3 個目				
283 以上	285 未満	上から 1 個目				
285 以上	287 未満	上から 2 個目			●	●
287 以上	289 未満	上から 3 個目				
289 以上	291 未満	上から 1 個目				
291 以上	293 未満	上から 2 個目	上部ポールの上から 4 個目			
293 以上	295 未満	上から 3 個目				
295 以上	297 未満	上から 1 個目				
297 以上	299 未満	●	●	●		
299 以上	301 未満	上から 3 個目				
301 以上	303 未満	上から 1 個目				
303 以上	305 未満	上から 2 個目			上部ポールの上から 2 個目	
305 以上	307 未満	上から 3 個目				
307 以上	309 未満	上から 1 個目				
309 以上	311 未満	上から 2 個目			上部ポールの上から 1 個目	
311 以上	313 未満	上から 3 個目				

2. 天井ポールと上部ポールが必要な場合、以下手順にて接続してください。

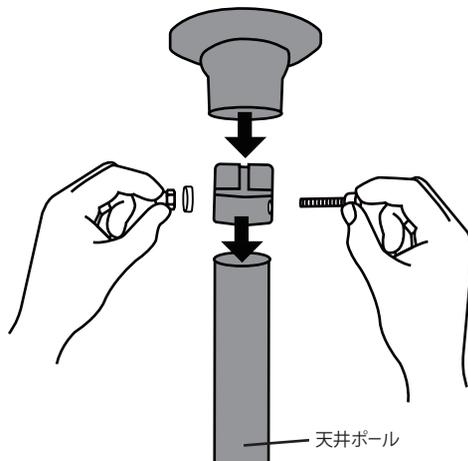
(表1で必要である事を確認した場合のみ)

【天井ポールの接続方法】

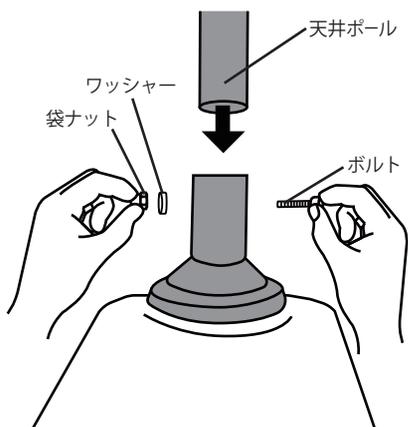
① ①本体の上部パッドを強く引いて取り外し、側面のボルト、ワッシャー、袋ナットを六角レンチで取り外して、上部キャップも取り外します。



② 先ほど取り外したものを、取り外したのと反対の手順で、②天井ポールの上側(径が太い方)に取り付けます。(ボルト・袋ナットはスパナと六角レンチで締め込んでください)



③ ②天井ポールを本体上部に差し込み、付属の⑥ボルト、⑦ワッシャー、⑧袋ナットで固定します。(ボルト・袋ナットはスパナと六角レンチで締め込んでください)

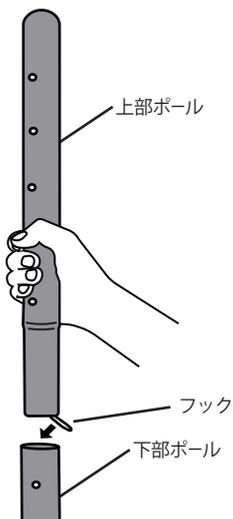


※②天井ポールを①本体に接続した状態。



【上部ポールの接続方法】

③上部ポールの下側(フックがついている側)を、④下部ポールの上側(下部ダイヤルパッドの無い側)に差し込んで、接続します。

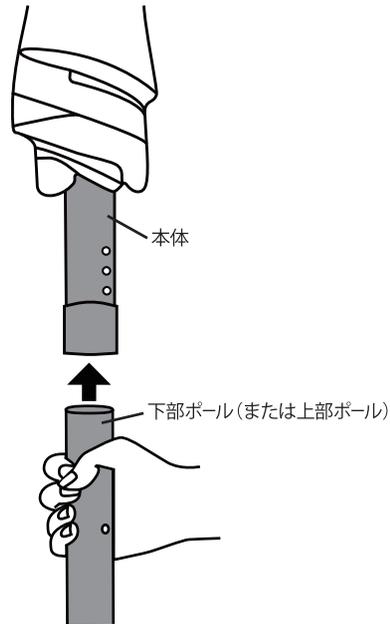


⚠ 注意

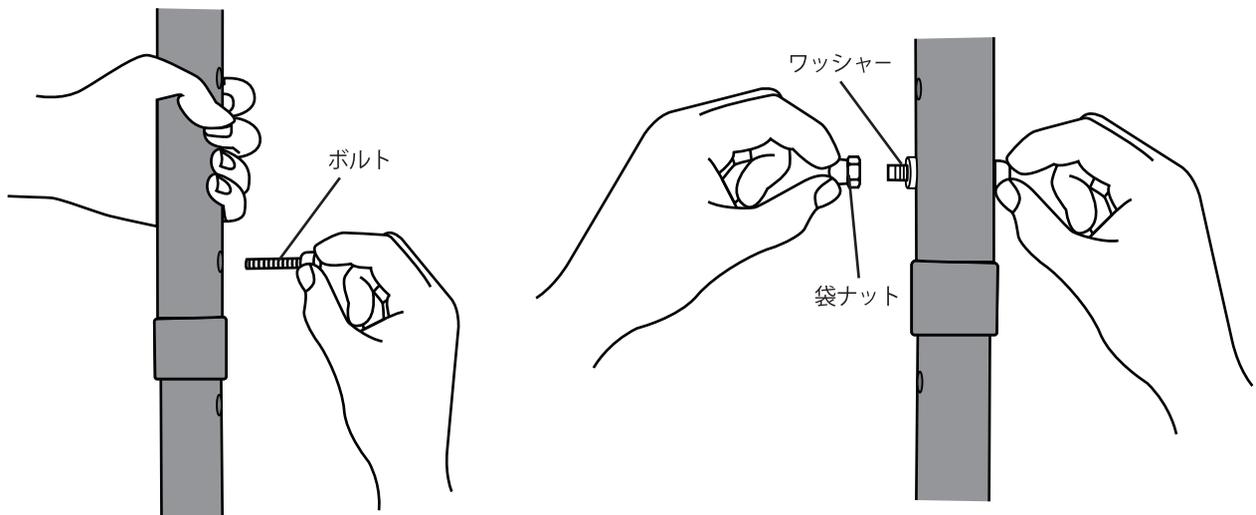
ボルト、ワッシャー、袋ナットは使いません

C. 本体と下部ポール(または上部ポール)の接続

1. ①本体に④下部ポール(上部ポール接続済みの場合は③上部ポール)を差し込みます。

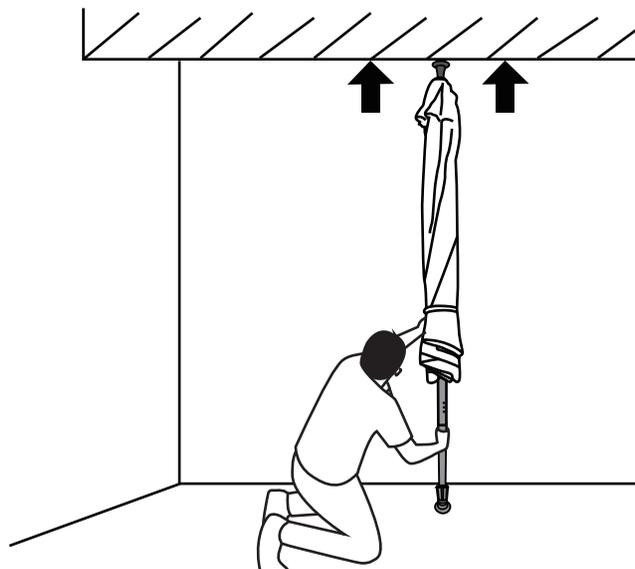


2. 表1より、ボルトを差し込む穴の組合せを確認し、付属の⑥ボルトを差し込み、⑦ワッシャー、⑧袋ナットをセットし、スパナと六角レンチで締め込んでください。



D. 本体の突っ張り固定

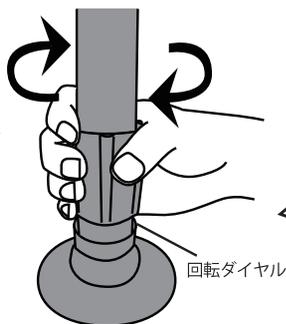
1. 本体と各ポールを接続したものを設置場所で垂直に立ち上げてください。



2. 本体が垂直状態になっている事に注意しながら、下部ダイヤルパッドの回転ダイヤルを上から見て時計回り(添付シール“棒が伸びる”方向)に回して突っ張り固定してください。

① 強制

突っ張り固定したら複数方向から見て、ポールの垂直具合を確認してください。
水平でない場合、回転ダイヤルを緩めてポールが垂直になる位置に調整して、再度回転ダイヤルを時計回りに回して突っ張り固定してください。

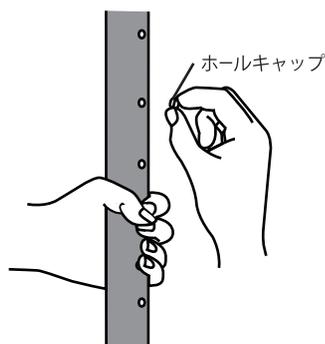


① 強制

突っ張り固定したら本体を軽く揺さぶり、突っ張り具合に緩みがないことをご確認ください。
またこの確認は設置後も1週間に1度以上の頻度で必ず実施してください。

- ① 下部ダイヤルパッドの上端が「ストップライン」より下にならないようにしてください。もし下になってしまったら、P3の2.Bからやり直してください。
- ① 突っ張り固定したら少し離れた複数方向から見て、完全に垂直になっている事を確認してください。
- ① 垂直になっていない場合は下部ダイヤルを時計反対回り(添付シール“棒が縮む”方向)に回し、一旦緩めてから突っ張り直してください。

3. 各ポールの開いている穴に⑨ホールキャップを取り付けてください。



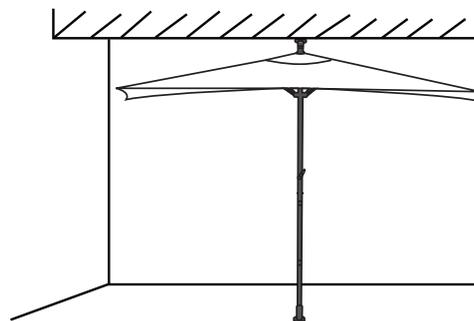
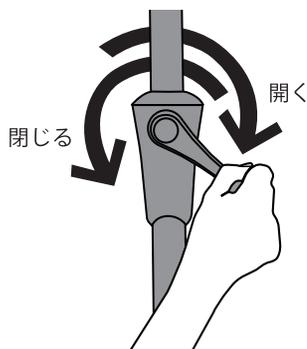
E. パラソルを開く

開閉ハンドルを時計回りに回し、パラシェードを開きます。

▲必ず時計回りに回し、カチャカチャ(歯車ロックの音)と音がする事を確認してください。誤って反時計回りに回してもパラソルは開きますが、内部の紐が切れたり故障の原因になりますのでご注意ください。

▲パラソルを開く際に、生地のみまきつきに注意してください。もし、生地がまきついて開きにくい時は、手で生地をほぐしてから開いてください。

▲パラソルを開く際、親骨が間違った方向に可動し、途中で開閉ハンドルが回らなくなる場合があります。この場合は一旦開閉ハンドルを逆方向に回してパラソルを完全に閉じ、再度親骨が正しい方向に可動している事を確認しながらゆっくりと開いてください。



3. 設置の最終確認

取付状態の最終点検をしてください。

またこの最終確認で不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読し、本書に従って正しく設置し直してください。更に設置後も、以下事項の点検を週に1回以上の頻度で必ず実施してください。

- * 本体を少し離れた複数方向から見て、完全にポールが垂直になっている事を確認してください。
- * スパナと六角レンチを使用し、前項で接続したボルトと袋ナットがしっかりと締まっている事を確認してください。
- * 本体のポール部分を握り、軽く揺らし、しっかりと突っ張っている事を確認してください。
- * 本体のポール部分を握り、軽く回し、しっかりと突っ張っている事を確認してください。
- * 開閉ハンドルを反時計回りに回し、パラソルを一旦閉じてください。

その後何度か開閉を繰り返し、問題なく日々の開閉動作が出来ることを確認してください。

これで完成です。

パラシェードハーフ・クォーター・レクタングルで軒先を日差しから守り、快適なスペースとしてご利用ください。

4. 使用上の注意

- ▲ 注意 本製品の parasol 生地には撥水加工を施してありますが、非ビニール素材である為多少の水を通します。
- ▲ 注意 本製品の parasol 生地は紫外線抑止加工を施してありますが、経年劣化により色が少しずつ変化していきます。
- ① 強制 夜間や留守中等、人目から離れる際には、必ず parasol を閉じ、縫い付けのバンドで固定してください。
- ① 強制 強風、大雨、大雪、その他悪天候の時はご使用にならないでください。
特に台風、豪雨、大雪等の悪天候の際には、事前に本製品を取外し、屋内にて保管してください。
- ① 強制 "3. 設置の最終確認" にある各項目の点検を週1回以上実施し、不具合が生じたらその箇所に該当する本書の項目を再読み、本書に従って正しく設置し直してください。
- ⊘ 禁止 本製品に寄りかかったり、点検以外の目的で揺さぶったり、物を載せたり、引っ掛けたりしないでください。
- △ 警告 本製品は家庭の軒先に設置する、突っ張り固定式日よけオーニングです。
本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様による改造等はしないようお願い致します。

5. お掃除・お手入れについて

*日常のお手入れは、乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどく、洗剤を使用したい場合は、必ず対象洗剤の説明書をよくお読みになり、適合している場合にのみご使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題ないことを確認してから広い面積にご使用ください。
*可動部分への潤滑油、金属部分のさび止め剤、生地部分の防水スプレー等の塗布は、必ずそれぞれの説明書をよくお読みになり、適合している場合にのみご使用ください。また使用する際は目立たない場所で少量を試し、問題無いことを確認してから広い面積にご使用ください。

6. その他

本製品は重量があり、雨風等の影響を受ける屋外に設置するため、正しく取り付けてご使用にならないと本製品を破損するだけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。

設置・ご使用の際にはこの『設置・取扱説明書』をよくお読みになり、正しくご使用ください。

設置後、絶対に倒れないという保証はありません。"3. 設置の最終確認" にある各項目の週1回以上の点検を必ず実施してください。

保証サービスについて

ご購入時に受領された保証書添付用レシート（またはお届け伝票）は、当保証書と一緒に大切に保管して頂くようお願い致します。

当保証書による保証サービスをご依頼するのに必ず必要となります。

取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合には、これらをご用意のうえご購入の販売店へお申し付けください。販売店にて保証サービス規定の範囲内と確認できましたら、無償にて修理または交換させていただきます。

パラシェード ハーフ・クォーター・レクタングル 保証書（仕様書）

【保証期間内でも、以下の場合は保証の対象外となります】

- *お買上げ後の落下等による故障及び損傷
- *ご使用上の誤り、不当な改造による故障及び損傷
- *地震・水害・落雷・火災、その他天災地変、公害による故障及び損傷
- *保証書添付用レシート（またはお届け伝票）が無い場合。（贈答品の場合であっても同様です）

品番及び仕様	アイボリー色	グレー色	ブラウン色	生地	ブラ部分	ポール・親骨	親骨長	親骨短
	パラシェードハーフ	PDHA2-IV	PDHA2-GY	PDHA2-BR	ポリエステル	PC又はABS	スチール	151cm
パラシェードクォーター	PDQT2-IV	PDQT2-GY	PDQT2-BR	ポリエステル	PC又はABS	スチール	151cm	—
パラシェードレクタングル	PDRT1-IV	PDRT1-GY	PDRT1-BR	ポリエステル	PC又はABS	スチール	141cm	106cm

お買上げ日 保証書添付用レシートまたはお届け伝票に記載
※これに記載が無い場合は無効となりますので、必ずお買上げ販売店にお申し付けください。

保証期間 お買上げ日より1年間

お客様情報

お名前(カナ)	電話番号(固定)	()
お名前(漢字)	電話番号(携帯)	()
〒	メールアドレス	@
ご住所	お買上げ販売店	

当保証書は日本国内でのみ有効です。

当保証書は一般家庭でご利用の場合のみ有効です。

当保証書及び保証書添付用レシート（またはお届け伝票）は再発行できません。

商品改良のため、仕様や外観等を予告なく変更する場合があります。

発売元：大作商事株式会社

〒100-0011 東京都千代田区千代田 1-1-1 帝国ホテルタワー 12F

お客様センター
フリーダイヤル **0120-120-959**

（土日・祝日を除く平日 月～金 9:00～17:00） 繋がらない場合は…TEL: 03-3539-4000